

RCNP 研究会報告

- 1) 研究会タイトル: **Hadron2013**
 - 2) 開催日程: 2013年11月3—11 (5日間)
 - 3) 開催場所: 奈良県立新公会堂
 - 4) 会議の概要: ハドロンに関する国際研究集会 (Hadron2013) は 2 年ごとに各国の持ち回りで行われている。今回は新学術領域研究「新ハドロン」による主催のもと、RCNP から研究会補助をうけ開催された。256 名 (うち海外から 158 名) の参加者が集まり、実験による新種のハドロンの発見、諸性質の解析、理論では格子 QCD や有効模型による最新の研究結果が報告された。午前中のプレナリーセッションは35の講演、午後のパラレルでは150を超える講演が行なわれ、実験と理論研究者の間で活発な議論が行なわれた。また多くの若手研究者が積極的に参加し、講演、ポスターの機会に議論を行った。会議のトピックスは以下の通り: Spectroscopy of light- and heavy-quark mesons, Baryons, Quarkonia, Glueballs, hybrids, and multiquarks, Exotic hadrons, Phenomenological models, Effective field theories, QCD on the lattice, Hadron structure, Hadrons in matter including hypernuclei, Hadrons in heavy-ion collisions, Future facilities, Other related topics
 - 5) 予算: RCNP からの予算80万円は海外から、および若手を中心とする参加者の旅費滞在費補助に充てた。
 - 6) 組織委員: 飯嶋徹 (委員長、名古屋)、宮林健吉 (奈良、副委員長)、保坂 淳 (阪大 RCNP、副委員長)、中野貴志 (阪大 RCNP)、野海博之 (阪大 RCNP)、延与秀人 (理研)、原田正康 (名古屋)、永広秀子 (奈良)、新山雅之 (京都)、堺井義秀 (KEK)、佐々木勝一 (東北)、安井繁博 (KEK)、四日市悟 (理研)、片岡佐知子 (奈良)
 - 7) 国際諮問委員会: Claude Amsler (University of Bern), Edmond Berger (Argonne National Laboratory), Stefano Bianco (INFN - Frascati) 他31名
- 連絡責任者: 保坂 淳、hosaka@rcnp.osaka-u.ac.jp